



平成 22 年 5 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 大 気 社
代表者名 代表取締役社長 上西 栄太郎
(コード番号:1979 東証第1部)
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長
櫻井 孝
(TEL 03-3343-1401)
(URL <http://www.taikisha.co.jp/>)

中期経営計画について

このたび、当社は、平成 23 年 3 月期から平成 25 年 3 月期までの 3 ヶ年における当社グループの中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせします。

この「中期経営計画」は、国内外の変化する社会に対応し、当社グループが持続的に発展していくための基本方針と経営目標を示すものです。

当社グループは、社是「顧客第一」のもと、「エネルギー・空気・水」に関わる環境対応技術を核として、グローバルに事業を拡大してまいります。株主各位および関係者各位のご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力をあげて取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【中期経営計画】

I. 理念・ビジョン

- 「創業理念」 顧客第一
- 「企業理念」 1. 永続的に成長し、社会に貢献する会社づくり
2. 魅力ある会社づくり
- 「経営ビジョン」 法令とその精神を順守し、公正で自由な競争のもとに適正な取引を行い、透明性と高い倫理観で、顧客・取引先、株主、社員、地域・社会、地球環境に貢献する。

II. 基本方針

1. 変化する社会の要求（経済、環境、社会的価値）に即応し、永続的に活動できる経営基盤を確立します。
- ① 経営システムを改善し、グローバルな視点に立った当社グループ全体のコーポレート・ガバナンスを強化します。
 - ② 市場環境の変化に柔軟・迅速に対応できる組織づくり、グループ会社の機能・役割に応じた再編成を行います。
2. 企業価値の向上をはかり、すべてのステークホルダーに貢献します。
- ① 環境関連事業を営む企業として、環境に配慮した CO₂ 削減技術と環境汚染防止技術で、顧客の環境価値向上と地球環境保全につとめます。
 - ② 既存事業、新規事業の資本効率を高め、企業価値の向上と安定配当の維持につとめ、株主にとって魅力ある事業運営を目指します。
 - ③ 「安全で信頼できる技術」、「安心で魅力あるサービス」を最適なコストで提供し、顧客の期待と信頼に応えます。
 - ④ 業務プロセスを継続的に改善し、「ムダ・ムラ・ムリ」の無い、安定した業務品質を実現します。
 - ⑤ 高い専門性と幅広い視野を持った人財づくりを行い、企業の優位性確保と魅力ある会社づくりを行います。

Ⅲ.グループ中期経営目標（連結）

本計画の年度別の目標値（連結）は以下のとおりです。

（単位：億円）

	平成 23 年 3 月期目標	平成 24 年 3 月期目標	平成 25 年 3 月期目標
受注高	1,380	1,570	1,610
完工高	1,360	1,470	1,600
営業利益	27	36	45
経常利益	32	42	52
当期純利益	16	22	28

Ⅳ 経営目標実現のための施策

1. 環境システム事業

① 成長する海外市場への対応

海外、特に成長の期待される東南アジア、中国市場での受注拡大を目指します。工事量増大への対応のため、海外関係会社の機能強化、現地社員の教育に注力します。

② 国内事業の拡充

ビル空調・産業空調のリニューアル工事の受注拡大につとめ、顧客への提案活動の実施、メンテナンス事業の拡充を進めます。

「新築→メンテナンス→リニューアル」というライフサイクルに立った最適なサービスを顧客とともに構築し、さらに IT 化、プレハブ化など独自のノウハウを生かします。

③ グループ全体の競争力向上

当社の関係会社の再編成を行い、グループ全体できめの細かいサービスと最適なコストを実現させ、競争力を高めます。

④ 生産性向上と最適なコスト

新しく導入する IT システムの稼働により業務プロセスの安定化をはかり、さらなる生産性向上を実現します。最適なコストのための原価低減方策を購買企画部にて引き続き推進します。

⑤ 新規事業の開拓

市場の拡大が期待できる周辺領域へは積極的に事業投資を進め、事業領域の拡大をはかります。特にリチウムイオン 2 次電池関連設備、エネルギーソリューション

ン分野、その他食品医薬関連分野における事業化を目指します。

2. 塗装システム事業

① グローバル対応と最適なコスト

中国・インド等成長性の高い市場に対して経営資源を優先的に配分し、競争力のある組織づくりを行います。受注競争の今後さらなる激化を視野に、最適なコストのための原価低減方策の確実な実施、グローバル調達体制の構築を進めます。

② 事業領域の拡大

塗装機器や塗装サーキュレーションシステム、コンベアシステム等の周辺領域を拡大し、顧客サービス力を充実させます。自動車塗装工場の周辺技術やノウハウの蓄積を進めて、塗装工場の設計をトータルに提供できるようエンジニアリング力の向上を目指します。

③ 省エネ・環境技術への注力

塗装システムに関連する CO₂ 削減技術や有機溶剤ガス（VOC）処理装置等の省エネ・環境技術について、さらなる技術開発を進め、業界トップレベルを維持します。

3. 経営基盤の強化

① 事業のグローバル化、市場環境の変化に柔軟に対応できる組織づくり

1. すべての事業部および本社各部門が、事業のグローバル化に、より効率的に対応できる組織づくりを目指します。
2. 国内外の市場環境の変化に的確に対応するため、グループ会社の再編を検討、実施します。

② 人財力の向上

1. 専門性を高めていくためのキャリアアップの仕組みや研修体系の整備・拡充を進め、社員の能力開発を支援・促進します。
2. 事業のグローバル展開を積極的にサポートし、海外関係会社のガバナンスをより強固なものとするため、海外事業に対応できる人財を現地採用社員も含めてグローバルに育成します。

③ 事業基盤強化のための戦略的な投資

永続的な成長を目指し経営基盤を強化するために、人財開発、研究開発、IT システム開発、業務改革に対し、戦略的な投資を行います。

以上